

五色池通信

285 2009年 7月 8日 発行

中土手に自然を戻す市民の会

東京都江戸川区東小松川3-35-13-204

〒132-0033 Tel 3654-7240 Fax 03-3654-7256

ホームページ: <http://www.cleanaid.jp/nakadote/>

6月28日 ザリガニ釣り 30人

6月28日、曇り空の中で活動開始。区の広報で40人以上の申込があり、全員受け容れましたが、雨模様など不参加もあり、集まったのは約30名の親子。ザリガニのつり方は、リピーターの小中学生が指導。一人で20匹以上も釣り上げた子もいました。

持ち寄った具を集めてトン汁を作り、みんなでお弁当を食べ、ザリガニも茹でて食べました。これもリピーターの小学生が(特定外来種の)ザリガニは、捕まえたら食べるか、死ぬまで飼うことを参加者に教えていました。

午後は、弓矢で遊ぶ子と、ザリガニ釣りを続ける子に分かれ、バッタも捕れましたがまだ小さいこともあって、子どもたちの興味はいまいちでした。



写真: 一人が釣り上げたザリガニと茹で上がったザリガニ

江戸川区環境フェア ミニすだれに人気

江戸川区環境フェアに、中土手に自然を戻す市民の会、下平井水辺の楽校、荒川クリーンエイド・フォーラムの共同出展。オギの茎で作るスタレ編みに親子の人気が集まりました。



この後の行事予定

7月12日(日) 下平井水辺の楽校

10:00 生物調査、水鉄砲づくり、投網、干潟遊びなど

7月19日(日) 中土手五色池

10:00 ザリガニ釣り、バッタとりなど自然遊び

7月25日(土) なつやすみ水辺の楽校

10:00 葛西臨海公園 鳥類園ウォッチングセンター

8月22、23日 荒川流域再生シンポジウム

熊谷 旧新川村(荒川右岸河川敷)

8月30日(日)「海水浴場復活シンポジウム」

～東京湾から発信する～ タワーホール船堀

荒川流域アユ遡上支援作戦 魚の行き交う川づくりに向けて

荒川流域再生プロジェクトによるアユの遡上支援作戦として、4月26日に入間川菅間の堰の上流に放流したアユがどこまで自力で遡上しているか、投網などで調査する活動があり、下流から、石川、佐藤、二宮(親子)で参加しました。当日は菅間の堰から越辺川の3つ目の中山堰(農業用の堰)の下で、脂ビレを切った標識アユが確認され、アユが自力でそこまで遡上していることが確認されました。

7月3日には入間川の寺山堰の下で標識アユが確認され、菅間堰のすぐ上の堰を上れなかったアユがいることも確認されました。

このような結果を踏まえアユを含む様々な魚が自由に生き来できる「魚の行き交う川づくり」に向けて運動を進めてゆくこととなります。



写真説明

右: 脂ビレのないアユ

脂ビレのあるアユも見つかリ、一般にはいないはずなので、放流の際ヒレを切られずに逃げ出したものかもしれない。

右の写真はオイカワとその下の写真はスゴモロコで、どちらも非常にたくさん投網で獲れた。

下はブラックバス(コクチバス)で今回は1匹だけ獲れた。



葛西東なぎさクリーン作戦

6月27日、葛西海浜公園東なぎさのクリーン作戦が行われた。えどがわエコセンター(自然部会)と葛西鳥類園・東渚友の会、荒川クリーンエイド・フォーラムが共同して実施するもので、

約40名が参加し、いつものように船で東渚に渡り、ゴミの回収と、動植物の調査などを行った。

11月10日(火)には、東京湾内湾漁協が主催するクリーン作戦も予定されており、毎年二回の活動によって、東渚に漂着するゴミの多くは回収されるようになっている。

東なぎさでは、荒川クリーンエイド・フォーラムが、海洋漂着ゴミの定点調査を行っており、今回も、10m四方の枠2箇所で行った。

